



文化

「木造阿弥陀如来立像」を大垣市重要文化財に指定しました



大垣市では、重要なものを守り、未来に伝えていくため、文化財の指定を行っています。真宗大谷派寺院であり、本市大井に所在する眞福寺の本尊「木造阿弥陀如来立像」を、令和5年2月22日、市重要文化財に指定しました。

本像は平安時代後期に作られたと考えられ、檜の一木造りの技法によって彫られた仏像です。

眞福寺は江戸時代に建立された念仏道場に起源をもち、昭和23年に真宗大谷派の寺院として創立されました。本像は念仏道場の本尊であった阿弥陀如来像が眞福寺創立時に引き継がれ、地域の人々に信仰されながら現在まで伝えられたものであり、大垣市の歴史や文化を語る上で高い資料的価値を有しています。

市は今後も文化財の保護と活用を推進していきます。



給食

学校給食における地産地消の推進

学校給食に地場産物を使用する地産地消については、地域の自然や、文化、産業等に関する理解を深めるとともに、生産者の努力や食に対する感謝の気持ちを育むうえで重要であると考えています。



岐阜県産の米や牛乳、大垣市産のにじます、しいたけ、もやしを使った給食

学校給食に取り入れている地場産物としては、岐阜県産の米、牛乳、豚肉、野菜などのほか、大垣産のにじます、しいたけ、もやし、ブロッコリー、まこもたけなどがあります。

給食だよりに「今月の岐阜県産の食品」として掲載するほか、各学校で給食の時間に放送する「給食一口話」でも地場産物を紹介するなどの取組を通じて、子どもたちに、地元の良さを知ってもらい、郷土を愛する心を育てたいと考えています。

みんなが学び交わり成長する 文教のまち大垣

大垣市教育委員会だより

はぐくみ vol.23

発刊
令和5年
6月

スマートフォンアプリ「美濃国分寺AR」をリリースしました

美濃国分寺跡歴史公園の風景に、創建当時の伽藍^{がらん}をCG(コンピュータ・グラフィックス)で再現するアプリ「美濃国分寺AR」を2023年3月より公開しています。

公園内でスマートフォン・タブレットをかざすと、AR(拡張現実)技術を活用し、発掘調査の成果をもとに復元された、七重塔や金堂などの建物の姿を見ることができます。また、自宅などでも建物の復元CGを表示し、自由に拡大・縮小・回転させて観察ができます。

そのほかにも、史跡の解説動画の視聴や、公園内を散策しながら実際に出土した土器や瓦をアプリ内で集める「発掘体験」など、幅広い世代が楽しみながら美濃国分寺跡の歴史について学ぶことができる機能を搭載しています。

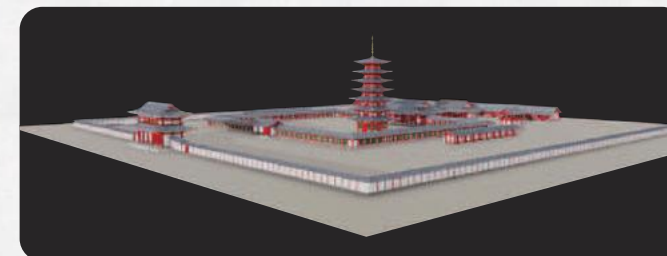
是非、お手持ちのスマートフォン・タブレットにインストールいただき、天平時代の美濃国分寺をお楽しみください。



七重塔CG



金堂CG



伽藍^{がらん}CG



アプリサイト



価格：無料
ダウンロード先



〒503-8601 大垣市丸の内2丁目29

大垣市教育委員会

TEL(0584)47-8022(直通) FAX(0584)82-6385

Email: kyouikusyomuka@city.ogaki.lg.jp

— 法務省 人権啓発キャッチコピー —

「誰か」のことじゃない。



江口 夜詩 生誕120周年記念事業を開催します

江口夜詩ってどんな人？

江口夜詩(1903～1978)は、大垣市上石津出身の作曲家で、「憧れのハワイ航路」、「赤いランプの終列車」、「瓢箪ブギ」など数々のヒット曲を生み出しました。

また、歌謡学校を設立し、多くの歌手や作詞家を世に送り出したほか、校歌や社歌、町民歌、地域の音頭なども数多く作曲し、生涯にわたる作曲数は4,000曲を超え、「大衆音楽の父」として讃えられています。

<記念事業の概要>

郷土出身の偉大な作曲家である江口夜詩の生誕120周年を祝い、その功績を再認識し、彼の歌を未来に歌い継いでいくための事業を実施します。



江口 夜詩

事業	時期・場所など	内容
江口夜詩作曲校歌 (上石津町4小学校) 保存事業	令和5年4月～令和6年3月 (1) 牧田小学校 (2) 一之瀬小学校 (3) 多良小学校 (4) 時小学校	上石津町4小学校の校歌(作曲:江口夜詩)を保存し、未来へ引き継ぐため、4小学校の児童による校歌合唱を収録し、日本昭和音楽村公式YouTubeチャンネルにて公開します。
寺井尚子ジャズ ヴァイオリン コンサート事業	令和5年11月19日(日) 日本昭和音楽村 江口夜詩記念館 水嶺湖ホール	世界的に有名なジャズヴァイオリニスト寺井尚子さんのコンサートを開催し、江口夜詩作曲の「憧れのハワイ航路」ジャズアレンジバージョンを演奏(予定)など、同氏の功績を広くPRします。 入場料4,000円(予定)
音楽村 ジュネンナーレ 2023事業	令和5年8月4日(金)～6日(日) 日本昭和音楽村 江口夜詩記念館 ホワイエなど	①ストリートピアノペイントワークショップ (YOSHI PIANO) 参加無料(要申込) ②江口夜詩似顔絵(塗り絵)展示 ③「ジュネンナーレ2013」 ガチャガチャタイムカプセル返却・開封
海上自衛隊音楽隊 演奏会事業	令和6年5月～令和6年6月の 間の土日祝日 ※調整中 日本昭和音楽村 江口夜詩記念館 水嶺湖ホール	現在の海上自衛隊音楽隊とも関わりの深い江口夜詩、江口浩司(夜詩の長男)の作品を中心とした「不滅の江口メロディー」と昭和のメロディーにスポットを当てた特別なプログラムの演奏会を開催します。 入場料無料



飯沼 慾斎 生誕240周年記念事業を開催します

飯沼慾斎ってどんな人？

飯沼慾斎(1783～1865)は、大垣で町医者として活躍したのち、植物研究に没頭し植物図鑑『草木図説』を著した人物です。『草木図説』とは、日本の植物を初めて、リンネの分類体系に基づいて分類し、正確な植物図とその特徴に関する記述を掲載した図鑑です。

なお、NHK連続テレビ小説「らんまん」の主人公のモデルである牧野富太郎(1862～1957)は、明治40年(1907)から大正2年(1913)にかけて、この『草木図説』に、現在の学名や科名、解剖図などを加えた『増訂草木図説』を出版しています。富太郎はその序文で、私たちの国で初めて日本人によって学術的に植物を分類した本であると評価しています。



飯沼慾斎肖像(早稲田大学図書館蔵)

<企画展の見どころ>

奥の細道むすびの地記念館と大垣市郷土館では、飯沼慾斎生誕240周年記念事業として、第36回企画展「飯沼慾斎*linumae*から牧野富太郎*Makino*へ～植物へのまなざし～」を開催します。

今回の企画展では、慾斎が実際に伊吹山で採集した植物標本を始め、植物の大きさや形、色合いなどを観察した顕微鏡、彩色が施された『草木図説』の下書きなど貴重な資料を展示します。また、富太郎が明治35年(1902)、慾斎が住んでいた長松村の「平林荘」を訪れ採集したトウツバキの標本を展示します。江戸時代の終わりに伝統的な「本草学」を引き継ぎながら西洋の「植物学」も取り入れた慾斎。明治から昭和にかけて全国で標本採集を行い、同定し、学名をつけることで日本の「フロラ」(植物相)を明らかにしようとした富太郎。二人の植物へのまなざしに大注目の展示です。

なお、会期中には、田中純子氏(練馬区立牧野記念庭園学芸員)による講演会、須山知香氏(岐阜大学教育学部准教授)による子ども向けの植物標本づくり、担当学芸員による展示解説を予定しています。詳細は奥の細道むすびの地記念館ホームページなどをご覧ください。

開館日時 及び時間

令和5年7月15日(土)～令和5年8月27日(日)9時から17時
※郷土館の入館は16時30分まで

場 所

①奥の細道むすびの地記念館1階企画展示室、②大垣市郷土館1階郷土美術室

休 館 日

①休館日なし、①毎週火曜日・7月19日・8月14日

入 館 料

①300円、②200円 ※いずれも18歳未満無料